

# 公開質問状

西東京市長 池澤隆史殿

2月7日(日)西東京市長選挙が実施されました。

今後4年間の西東京市の市政執行の責任者を決める、非常に大切な選挙でした。

4年前の市長選挙と比較すると、投票率が9.33%も上がり、市民の関心の盛り上がりを感じられました。

しかしながら、この選挙戦において、市民として疑問に思うことが発生しました。選挙というものは、候補者各々が、政策や街づくりのビジョン、政治姿勢を市民に示し、その信を問うものであると私たちは理解しています。

以下に私たちの疑問点を述べさせていただきますので、ご回答をお願いいたします。

- 1 市長はじめ他の候補者は、選挙管理委員会で届出書の記載と添付書類について審査を受け、届け出が受理された結果、公職の立候補者となられた方です。  
他市で公職についていた候補者を選挙戦から排除するかのような「余所者」キャンペーンや「ここは西東京市です」という訴えは、法的に保障された被選挙権をないがしろにするものであると言わざるを得ませんが、市長はこのことについて、どのように認識されていますか。
- 2 市長の確認団体「明日の西東京を創る会」発行の法定ビラ2号はどのような方法で、何部配布されたのですか。
- 3 政策を訴え、フェアな選挙活動を行っている候補者に対し、このビラは「返子での失敗のリベンジは返子でやってください。ここは西東京市です」とあり、候補者の名誉を著しく傷つけるものです。  
「返子の失敗」とは何を指すのでしょうか。また、西東京市で立候補することは「リベンジ」であるとお考えですか。何を根拠にそのような文言が使われたのでしょうか。このビラを見たとき、多くの市民は何の怪文書かと思いました。市長はどのようなお考えから、このビラの発行・配布をお認めになられましたか。
- 4 平井氏の確認団体「西東京市の未来をひらいていく会」は多様な信条を持つ広範な市民と野党・無所属市議会議員が連合した民主的な団体です。市長の確認団体「明日の西東京を創る会」は「共産・左翼に市政を渡すな!!」と叫ばれていましたが、市長も同じ認識をお持ちですか。

以上

市長には、3月5日までに、書面にてご回答をお願いいたします。

2021年2月26日

(呼びかけ人) 土井節子  
仲村靖恵  
横井道子

(賛同人) 48名